

「相対的無輸血」のお知らせ

輸血を拒否される患者様へ

当院では、患者様との信頼関係を第一に考え、医療行為の実施にあたり、十分な説明と同意（インフォームド・コンセント）に努めております。その中で、宗教的理由などから輸血を拒否される患者様がおられます。

私たちは、無輸血または必要最小限の輸血で診療を行っておりますが、手術をはじめとする診療中に「生命の危機」が生じ、医師の倫理にもとづき輸血をせざるを得ないと判断した場合には、宗教的理由などから輸血を拒否される患者様に対しても、輸血を実施する立場を取っています（いわゆる「相対的無輸血」）。

当院の方針を十分に説明し、ご理解いただけるよう努力いたしますが、どうしても同意が得られない場合は転院をお勧めいたします。ご理解の上、ご協力のほどお願い申し上げます。

<相対的無輸血とは・・・>

患者様の意思を尊重して可能な限り無輸血治療に努力するが、輸血以外に救命手段がない事態に至ったときには輸血を行うこと。

<絶対的無輸血とは・・・>

患者様の意思を尊重し、たとえいかなる事態になっても輸血は行わないこと。

平成 23 年 12 月 19 日

イムス富士見総合病院